

平成27年度漁業士認定事業

水産海洋技術センター 牧野清人

1. 漁業士認定及び審査状況

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者を育成する目的で昭和61年度から全国一斉にスタートした。本県も昭和61年度には6名の漁業士が認定されて以来、平成27年4月現在で53名となっている。その内訳は、名誉指導漁業士4名、指導漁業士30名、青年漁業士19名である。

平成27年9月7日に県庁において平成27年度漁業士認定審査会を開催、4漁協、4市村より推薦を受けた、指導漁業士候補3名および青年漁業士養成講座を受講した青年漁業士候補4名について審査を行い、7名全員を認定した。

2. 平成27年度認定漁業士紹介

●青年漁業士

恩納村漁協 又吉直樹

昭和 57 年 12 月 28 日生まれ (33 歳)

主にヒトエグサ養殖に取り組んでおり、安定的な生産と経営を維持している。漁協青年部員として地域活動や食育活動にも意欲的に取り組んでいる他、他地域からの現場視察も受け入れ、技術交流・普及に努めている。同氏の活動は若手漁業者の模範となっており、今後も同地域での水産業振興への貢献が期待できる。

沖縄市漁協 金城豊

昭和 56 年 11 月 29 日生まれ (33 歳)

28 歳ごろから 1 年を通してマグロ漁に専念するようになり、現在では常に水揚げトップの位置にいる程の腕前である。組合監事、パヤオ研究会役員を歴任し、組織運営にも協力的で、地域漁業発展にも寄与している。好奇心旺盛な性格で、漁業技術向上、開発のみならず、地域活性化のために若いリーダーとしての役割が期待できる。

那覇市沿岸漁協 浦広満

昭和 62 年 6 月 19 日生まれ (28 歳)

祖父、父親、兄弟とも漁業に従事している漁業者家族である。高校卒業後漁業を開始し、父親と共に集魚灯およびソデイカ漁を約10年営んでおり、年間を通して安定的な水揚げがある。漁協監事を務めるなど他組合員からの信頼も厚く、各地の漁業者との交流も積極的に行っている。今後、底魚一本釣りによる水揚げ増加を考えており、技術習得に向け努力している。

知念漁協 仲里真吾

昭和 56 年 2 月 15 日生まれ (34 歳)

父親と共同でモズク養殖を営んでおり、潜水漁業も合わせて安定的な経営を行い、家族4名の生活を支えている。漁協モズク部会青年会員の中核として培養種の採取、保存、種付けに積極的に取り組んでいる。水産海洋技術センターの試験研究にも協力しており、今後地元のみならず全県の漁業者に対する技術普及への貢献が期待される。

●指導漁業士

沖縄市漁協 神山清英

昭和 49 年 3 月 29 日生まれ (41 歳)

ソデイカ漁を中心にパヤオ、集魚灯等のマグロ漁を行っており、優れた漁業技術、経営能力を有している。また、ソデイカ漁では船団長として4~5隻の漁船をまとめ上げる他、パヤオ研究会役員、美ら海会役員を務める等、地域漁業者の指導的立場として重要な役割を担っている。今後も地元のみならず県内の漁船漁業者に対する指導的役割が期待できる。

那覇市沿岸漁協 金城元士

昭和 42 年 8 月 17 日生まれ（47 歳）

マチ類やウメイロ等を狙った底魚一本釣りを中心とした漁業を行う。水揚げした魚を船上で活〆するなど、鮮度保持を徹底して行うことを実践しており、高品質な魚の提供、取扱価格の向上のため、他の漁業者にも技術普及している。7 年間漁協理事としても務めており、組合や他の漁業者からの信頼も厚い。

那覇市沿岸漁協 与那嶺克也

昭和 47 年 8 月 17 日生まれ（42 歳）

15年以上集魚灯とソデイカ漁に携わっており、安定した漁業経営を行う。乗り子として雇った漁業者を独立させるなど技術指導にも熱心であり、那覇市や糸満市等の地域イベントや少年水産教室等の普及事業にも積極的に協力している。また、メーカーと共同し、巻き上げ機の改良にも取り組んでいる。美ら海会にも所属している他、他県の漁業者団体の総会に出席するなど、県内外の漁業者との繋がりも広く持つ。



第21回青壮年女性漁業者交流大会における漁業士認定式（右から新里勝也水産課長、与那嶺克也氏、金城元士氏、神山清英氏、浦広満氏、金城豊氏、仲里真吾氏、又吉直樹氏、玉城肇統括監）

